

Product Efforts: Development

商品と将来技術への取り組み



独自技術を生かした電動化商品の投入



ジャトコは10年以上前から電動化時代に備えてノウハウを積み重ねてきました。2010年に世界で初めて1モーター2クラッチシステムを採用したFRハイブリッド車用トランスミッション、JR712Eを開発。2013年には同システムのエンジンとモーターの結合部に世界で初めて乾式多版クラッチを

採用したFFハイブリッド車用トランスミッション、Jatco CVT8 HYBRIDを市場投入し、さらに2021年からはジャトコ タイランド社で日産キックス向けのモーター・ギアボックスの生産を開始しました。今年も日産のフラッグシップEVである新型日産アリアにもギア部品を供給し、日産アリアの特長

の一つである静粛性などに貢献しています。

積み重ねてきたノウハウを基に、2020年代半ばにはモーター・ギア・インバーターが一体となった電動車用駆動ユニットのe-Axleを本格的に市場投入します。